作業開始前に本書を必ず一通りお読みになり、
内容をよく理解してから作業を始めて下さい。

ROYAL ENFIELD CRASSIC 350
POWERBOX サイレンサー
取付説明書

SP TADAO

＜商品内容＞

POWERBOX サイレンサー　×1

＜取付所要時間の目安＞
約15分

※ 説明書内の写真は試作品の為、実際の商品とはパイプの形状等、一部異なる場合があります。
※ 作業は平坦な場所でエンジン、マフラーが完全に冷えた状態で行なって下さい。
※ 作業時のキズ付き防止の為に、マフラー取り付け部廻りの塗装部分にはあらかじめガムテープ等を 貼って養生しておく事をお勧めします。

❶ 純正サイレンサーを取り外します。

※センタースタンドを立て、車体を安定させた状態で作業します。

純正サイレンサーの固定箇所を緩め、
サイレンサーボディーをエキゾーストパイプ
から抜き取ります。

純正サイレンサーに2点で固定されている板状のステーを取り外し、
POWERBOXサイレンサーに移植します。(固定には純正のボルトを再使用します。)

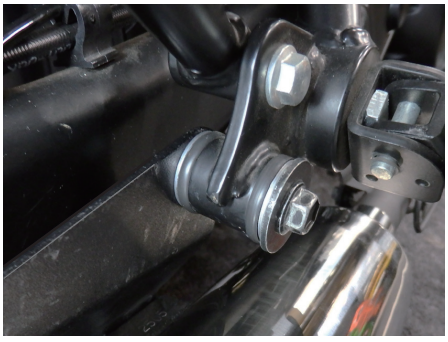
❷ POWERBOX サイレンサーを仮組みします。

POWERBOXサイレンサー装着時では
接合部のジョイントガスケットは使用しません。
その代わりに水滴垂れや排気漏れを抑える為にも
接合部にあらかじめ液体ガスケットを
塗布して組み付ける事をおすすめします。

POWERBOX サイレンサーをエキゾーストパイプに
ゆっくりと差し込んで行きます。細かく小刻みに
揺すりながら差し込んでいくのがコツです。
回転させながら入れることは避けて下さい。
かじりの原因となります。

POWERBOX パイプとの組み合わせ時でも
純正パイプとの組み合わせ時でも
接合部にはジョイントガスケット、
サイレンサーバンドは使用しません。

サイレンサーステーの取り付け穴を
車体側固定箇所の穴位置に合わせ、
ステーを仮止めします。
固定には純正のボルト類を再使用します。



純正サイレンサーの時と同様に車体側ブラケットの
内側にステーを配置して固定します。

車体各部との隙間を確認しながら必要に応じて位置を調整します。
特に転倒歴のある車輌などはフレームやスィングアームとの隙間をよく確認して下さい。

❸ 各部の隙間、取り付け状態を確認し、仮止め状態の各部を本締めします。

本締めを終えましたら、サイレンサーに付着した汚れや油分をパーツクリーナーでしっかりと拭き取ります。
汚れや油分がマフラーに付いた状態でエンジンをかけて熱が加わりますとあとで落とすのが困難になりますのでご注意下さい。

❹ エンジンを始動して、排気漏れがなく、装着状態に問題のない事が確認できましたら作業終了です。

※ マフラー装着完了後も取り付け状態やボルトの緩みのチェックは定期的に行なって下さい。
※ 装着直後はマフラー内部に残った油分や塗料の油分により、白煙や臭いが発生する場合がありますが
しばらく走行を繰り返していくうちに収まって行きます。
※ 製品の構造上、ご使用状況によってはアフターファイヤーが発生する場合がありますが、
性能や耐久性に問題が生じるものではございません。
※ 製品によってはパイプやサイレンサーの一部に小さな穴を空けています。
これは水抜き用に設けられた穴ですので特に問題はございません。
※ しばらくお使いいただく内にマフラー接合部から排気漏れや水滴が垂れてくる事があります。
この事は性能に大きな影響を及ぼす様な異常とはなりませんが、著しく排気漏れが発生している場合には
再度接合部に液体ガスケットを塗って組み直す事をおすすめします。

上記の内容を良くご理解いただいた上でご使用下さい。